

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330231039	教育相談(カウンセリングを含む。) Educational Counseling	信太寿理			2	必修	3前期
科目の概要							
DP1,2,3に記載されている、現代の子どもの生活問題に対する認識及び、専門的技術・技能を身につけ、自立した社会人として常に自己研鑽に取り組み、社会人基礎力も習得した教育者の育成を目指す。 そのために、この科目では、「教育相談」を行う際には子どもの心理のみではなく、保護者の心理を理解し受容することが重要である。気になる子どもをもつ保護者の心理と相談を受ける際の配慮、カウンセリングマインドについて、演習を通して学習する。 また、気になる子どもに対する発達支援の方法と、保育者として適切に相談を受けるスキルを習得する。							
学修内容				到達目標			
① 学校等の教育現場における教育相談の意義と理論を理解する。 ② 相談に応じる際の態度である、カウンセリングマインドについて理解する ③ 事例に即した子どもの発達支援について、その方法などを考察することができる ④ 気になる子どもをとりまく支援について理解する				① 学校等の教育現場における教育相談に関する意義と課題、教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している。 ② カウンセリングマインドについて理解している ③ 事例に即した子どもの発達支援について、その方法などを考察することができる ④ 気になる子どもをとりまく支援について理解している			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って学習することができると同時に、日常生活で活かすことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	困難があっても諦めずに目標に向かって進むことができる					
考え抜く力	課題発見力	テキストで学んだことや自分で考えたことを踏まえて、新たな視点や課題を見つけることができる					
	計画力	計画的に学習を進めることができる					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	思っていることや考えていることについて、グループワークやレポートなどで表現することができる。					
	傾聴力	あいづちやうなずきなど話を聞く姿勢ができています					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：よくわかる！教育エクササイズ 教育相談/ 森田健宏・吉田佐治子 編著/ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4-623-08178-3							
他科目との関連、資格との関連							
「教育相談(カウンセリングを含む。)」は、「教育心理学」や「保育の心理学」で獲得した知識を活用する。また、その後に履修する「子ども家庭支援の心理学」の基礎となる科目でもある。 資格：幼稚園教諭、小学校教諭							
学修上の助言				受講生とのルール			
この授業では、多くの事例やワークを行います。どれも実習や資格取得に繋がっていきますので、ぜひ積極的に受講し、日常生活の中で活かせるようにしてください。 また、この授業ではテキストに直接書き込んでいきます。忘れずにテキストを毎回持参してください。							

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
		レポート		90	①		✓	毎回の復習をかねた小レポートの提出と、最終レポートで総合的に評価しますので、積極的に授業に臨んでください。 毎回の小レポートの内容については次の回でフィードバックを行っていきますが、個別の返却はありません。 最終レポート課題では、これまでの授業での語句の理解だけでなく、これまでの習得したテーマについて自分の考えをまとめることができているかが評価の対象としている。 ・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得（心理学的概念の理解・用語の理解）：40% 知識の活用（心理学的概念を用いた事例の活用の試み）：30% 知識の解決（心理学的概念を用いた事例の具体的な提案）：20%
					②		✓	
③					✓			
④					✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			0	①				
				②				
	③							
	④							
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・主体性：課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って学習することができると同時に、日常生活で活かすことが出来る ・実行力：困難があっても諦めずに目標に向かって進むことができる ・課題発見力：テキストで学んだことや自分で考えたことを踏まえて、新たな視点や課題を見つけることができる ・計画力：計画的に学習を進めることができる。 ・創造力：物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。 ・発信力：思っていることや考えていることについて、グループワークやレポートなどで表現することができる。 ・傾聴力：あいづちやうなづきなど話を聞く姿勢ができています。 ・規律性：無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・出席状況がよく「教育相談（カウンセリングを含む。）」に関する幅広い知識を説明することができ、成果発表、社会人基礎力も大変よく身に付いている。(S) ・出席状況がよく「教育相談（カウンセリングを含む。）」に関してほぼ説明することができ、成果発表、社会人基礎力もよく身に付いている。(A)	出席状況はよい。「教育相談（カウンセリングを含む。）」に関する知識を所々説明でき、成果発表、社会人基礎力が身に付いている。(B) 出席状況もあまりよくなく、「教育相談（カウンセリングを含む。）」に関する知識はおおまかに説明でき、成果発表、社会人基礎力は少しは身に付いている。(C)

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	イントロダクション： 教育相談とは何か この授業の内容や流れ について理解する	講義 グループワーク レポート作成 レポートへのフィード バック	教育相談とは何か、大 まかに理解している。	(予習) シラバスを 読んでくる。第1講を 読み、理解のポイントを 確認してくる。 (復習) 残りの復習問 題にチャレンジする。 p17をまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	カウンセリングの理論 カウンセリングとはど のようなものか、その 理論について理解する	講義 グループワーク レポート作成 レポートへのフィード バック	カウンセリングとはど のようなものかについ て、大まかに理解して いる。	(予習) 第2講を読み、理 解のポイントを確認して くる。 (復習) 残りの復習問題 にチャレンジする。p31を まとめておく。 *PCRシートはgoogle classroom及びgoogle form で実施・配布する予定で す。	90	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	カウンセリングの技法 カウンセリングのさま ざまな技法について理 解する	講義 グループワーク レポート作成 レポートへのフィード バック	カウンセリングにはさ まざまな技法があり、 どのような内容かにつ いて、大まかに理解し ている。	(予習) 第3講を 読み、理解のポイントを 確認してくる。 (復習) 残りの復習問 題にチャレンジする。 p43をまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	学校における諸問題と その対応① いじめ・不登校への対 応 学校における諸問題の 1つとして、いじめ・ 不登校の心理とその対 応について理解する	講義 グループワーク・ディ スカッション レポート作成 レポートへのフィード バック	いじめ及び不登校の現 状やいじめの心理につ いて、大まかに理解し ている。	(予習) 第4講を 読み、理解のポイントを 確認してくる。 (復習) 残りの復習問題 にチャレンジする。p55を まとめておく。 *PCRシートはgoogle classroom及びgoogle form で実施・配布する予定で す。	90	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	学校における諸問題と その対応② 学級崩壊、学級経営の 問題への対応 学校における諸問題の 1つとして、学級崩壊 や学級経営の問題につ いて理解し、その対応 について考える	講義 グループワーク レポート作成 レポートへのフィード バック	学級崩壊の実情と回復 するポイントと、学級 崩壊にならないための 学級経営について大ま かに理解している。	(予習) 第5講を 読み、理解のポイントを 確認してくる。 (復習) 残りの復習問 題にチャレンジする。 p69をまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	学校における諸問題と その対応③ 虐待、いじめの教育へ の対応 学校における諸問題の 1つとして、虐待やい じめの教育について理 解する	講義 グループワーク・ディ スカッション レポート作成 レポートへのフィード バック	子どもの虐待といじめ の教育について、自分 の意見を持つことがで きている。	(予習) 第6講を 読み、理解のポイントを 確認してくる。 (復習) 残りの復習問題 にチャレンジする。p83を まとめておく。 *PCRシートはgoogle classroom及びgoogle form で実施・配布する予定で す。	90	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	学校における諸問題と その対応④ 非行、学校不適應への 対応 学校における諸問題の 1つとして、非行や学 校不適應への問題につ いて理解する	講義 グループワーク レポート作成 レポートへのフィード バック	非行や学校不適應への 理解と対応について、 考えることができている。	(予習) 第7講を 読み、理解のポイントを 確認してくる。 (復習) 残りの復習問 題にチャレンジする。 p97をまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	学校における諸問題と その対応⑤ 発達障害への対応(1) 学校における諸問題の 1つとして、発達障害 とその対応について理 解する	講義 グループワーク レポート作成 レポートへのフィード バック	発達障害への理解と対 応について大まかに理 解している。	(予習) 第8講を 読み、理解のポイントを 確認してくる。 (復習) 残りの復習問 題にチャレンジする。 *PCRシートはgoogle classroom及びgoogle formで実施・配布する 予定です。	90	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	学校における諸問題とその対応⑥ 発達障害への対応(2) 合理的配慮について理解する	講義 グループワーク レポート作成 レポートへのフィードバック	発達障害への理解と対応について大まかに理解している。	(予習) 第9講を読み、理解のポイントを確認してくる。 (復習) 残りの復習問題にチャレンジする。 p111をまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	学校における諸問題とその対応⑦ 心の病への対応(1) 学校における諸問題の1つとして、心の病の種類について理解する	講義 グループワーク レポート作成 レポートへのフィードバック	児童期から青年期にみられる心の病気について、大まかに理解し、教師として何ができるのか考えることができている。	(予習) 第9講を読み、理解のポイントを確認してくる。 (復習) 残りの復習問題にチャレンジする。p123をまとめておく。 *PCRシートはgoogle classroom及びgoogle formで実施・配布する予定です。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	学校における諸問題とその対応⑧ 心の病への対応(2) 学校における諸問題の1つとして、心の病への対応について理解する	講義 グループワーク・ディスカッション レポート作成 レポートへのフィードバック	児童期から青年期にみられる心の病気について、大まかに理解し、教師として何ができるのか考えることができている。	(予習) 第10講を読み、理解のポイントを確認してくる。 (復習) 残りの復習問題にチャレンジする。 p123をまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	専門機関との連携・校内や他機関との連携 専門機関や校内、その他機関との連携について理解する	講義 グループワーク レポート作成 レポートへのフィードバック	校内のさまざまな立場の職員、および他機関との連携について大まかに理解している。	(予習) 第11, 12講を読み、理解のポイントを確認してくる。 (復習) 残りの復習問題にチャレンジする。 p137をまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	教育相談におけるアセスメント①② 行動観察法・面接法、心理検査法の利用 教育相談におけるアセスメント方法を理解する	講義 グループワーク レポート作成 レポートへのフィードバック	教育相談におけるアセスメント方法として、いくつかあることを理解している。	(予習) 第13講を読み、理解のポイントを確認してくる。 (復習) p150, 164の復習問題にチャレンジする。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	家庭の理解と保護者への支援 家庭の理解と保護者への支援について、理解する	講義 グループワーク・ディスカッション レポート作成 レポートへのフィードバック	今の親が置かれている状況と、子どもが育てていく方法について大まかに理解し、自分の考えを持っている。	(予習) 第15講を読み、理解のポイントを確認してくる。 (復習) 残りの復習問題にチャレンジする。 p179をまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	講義のまとめ これからの教育相談 これまでの重要な理論と、これからの教育相談はどうあるべきかについて考える	講義(オンデマンド) レポート作成(オンライン)	これまでの内容や、これからの学校や教育相談の在り方について、大まかに理解し、自分の意見を持つことができている。	(予習) 第15講を読み、理解のポイントを確認しておく。 (復習) 残りの復習問題にチャレンジする。 p206をまとめておく。 これまでの復習問題や理解のポイントを確認する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力